

<定点把握感染症>

※表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数

※定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

※◎:警報レベル

○:注意報レベル

疾患名	全国	山形県			村山地区			最上地区			置賜地区			庄内地区			累積(県)
	第47週	第47週	第48週	増減	第47週	第48週	増減	第47週	第48週	増減	第47週	第48週	増減	第47週	第48週	増減	
インフルエンザ定点 (定点医療機関数)		(48)			(20)			(5)			(10)			(13)			
インフルエンザ	2572 0.52	1 0.02	4 0.08	△		1 0.05	△		2 0.40	△	1 0.10	1 0.10					16290
小児科定点 (定点医療機関数)		(30)			(13)			(3)			(6)			(8)			
RSウイルス感染症	1595 0.50	34 1.13	52 1.73	△	7 0.54	26 2.00	△				27 4.50	24 4.00	▼		2 0.25	△	1618
咽頭結膜熱	1640 0.52	32 1.07	37 1.23	▲	10 0.77	11 0.85	△	4 1.33	6 2.00	▲	9 1.50	5 0.83	▽	9 1.13	15 1.88	▲	872
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	7581 2.40	111 3.70	101 3.37	▽	64 4.92	43 3.31	▽	5 1.67	9 3.00	▲	30 5.00	35 5.83	△	12 1.50	14 1.75	△	4405
感染性胃腸炎	18951 6.00	164 5.47	245 8.17	▲	65 5.00	80 6.15	△	6 2.00	10 3.33	△	42 7.00	56 9.33	▲	51 6.38	99 12.38	▲	6949
水痘	1348 0.43	27 0.90	22 0.73	▼	12 0.92	13 ◎1.00	△	1 0.33	1 0.33		12 ◎2.00	3 0.50	▼	2 0.25	5 0.63	△	630
手足口病	2059 0.65	10 0.33	14 0.47	△	5 0.38	6 0.46	△		2 0.67	△				5 0.63	6 0.75	▲	1325
伝染性紅斑	2070 0.65	15 0.50	21 0.70	▲	6 0.46	5 0.38	▽	5 ◎1.67	11 ◎3.67	▲	2 0.33	4 0.67	△	2 0.25	1 0.13	▽	504
突発性発しん	1245 0.39	15 0.50	19 0.63	△	5 0.38	4 0.31	▽	1 0.33	4 1.33	△	3 0.50	6 1.00	△	6 0.75	5 0.63	▽	815
ヘルパンギーナ	460 0.15	2 0.07	3 0.10	△	1 0.08	1 0.08						2 0.33	△	1 0.13		▼	2847
流行性耳下腺炎	349 0.11	4 0.13	2 0.07	▽	3 0.23		▽					1 0.17	△	1 0.13	1 0.13		138
眼科定点 (定点医療機関数)		(8)			(4)			(1)			(1)			(2)			
急性出血性結膜炎	3 0.00																1
流行性角結膜炎	569 0.82	2 0.25	8 1.00	▲	2 0.50	5 1.25	▲							3 1.50		△	110
基幹定点 (定点医療機関数)		(10)			(4)			(1)			(2)			(3)			
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	16 0.03																20
クラミジア肺炎	1 0.00																
マイコプラズマ肺炎	157 0.33	5 0.50	6 0.60	△	5 1.25	6 1.50	△										145
細菌性髄膜炎	8 0.02																10
無菌性髄膜炎	8 0.02																6

<全数把握感染症>

疾患名	類型	報告数				備考
		村山	最上	置賜	庄内	
結核	患者	1			1	
	無症状病原体保有者				1	
レジオネラ症	患者	1				
侵襲性インフルエンザ菌感染症	患者	1				ヒブワクチン接種歴:不明。
梅毒	患者	1				
百日咳	患者	4				※内、第47週追加報告1人。百日咳ワクチン接種歴:4回4人。小児4人。
水痘(入院例)	患者			1		※第47週追加報告分。水痘ワクチン接種歴:無し。

<通信欄>

※インフルエンザの迅速キットによる型別は、A型4件です。集団発生の報告は、ありません。
※トピックスで伝染性紅斑と咽頭結膜熱について掲載しています。

【速報】・第49週に、村山地区で風しんの報告が1人ありました。(12月3日 プレスリリース)

※定点把握感染症のグラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙(グラフページ)をご覧ください。

<定点把握感染症 報告患者数 年齢別>

インフルエンザ定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	
インフルエンザ												1	1		
	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～									合計
			1		1										4
小児科定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～	合計
RSウイルス感染症	11	10	12	10	4	2	1		1	1					52
咽頭結膜熱		5	8	10	3	7	2	1	1						37
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			2	6	10	6	24	12	11	7	8	15			101
感染性胃腸炎	3	20	39	23	26	22	22	17	20	13	12	21	2	5	245
水痘		1	1	2	2	1		1	5	8		1			22
手足口病			2	5	5		1				1				14
伝染性紅斑			2	1	2	1	4	2	3	1	2	3			21
突発性発しん		5	10	2		2									19
ヘルパンギーナ		1	2												3
流行性耳下腺炎								1			1				2

<平成30年10月 月報>

2018年11月21日 発行

疾患名	山形県		村山地区		最上地区		置賜地区		庄内地区		累積(県) 1～10月	
	9月	10月	9月	10月	9月	10月	9月	10月	9月	10月		
STD定点 (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)			
性器クラミジア感染症	報告数	17	11	11	6		1	2	2	4	2	177
	定点当たり	1.70	1.10	2.75	1.50		1.00	1.00	1.00	1.33	0.67	
性器ヘルペスウイルス感染症	報告数	5	12		1	1	2	3	6	1	3	78
	定点当たり	0.50	1.20		0.25	1.00	2.00	1.50	3.00	0.33	1.00	
尖圭コンジローマ	報告数	2	1	2			1					30
	定点当たり	0.20	0.10	0.50			1.00					
淋菌感染症	報告数	6	4	3	2					3	2	36
	定点当たり	0.60	0.40	0.75	0.50					1.00	0.67	
基幹定点 (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)			
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告数	5	6					1		5	5	70
	定点当たり	0.50	0.60							0.50	1.67	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告数	21	31	7	16	1	1		1	13	13	201
	定点当たり	2.10	3.10	1.75	4.00	1.00	1.00		0.50	4.33	4.33	
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告数		1		1							1
	定点当たり		0.10		0.25							

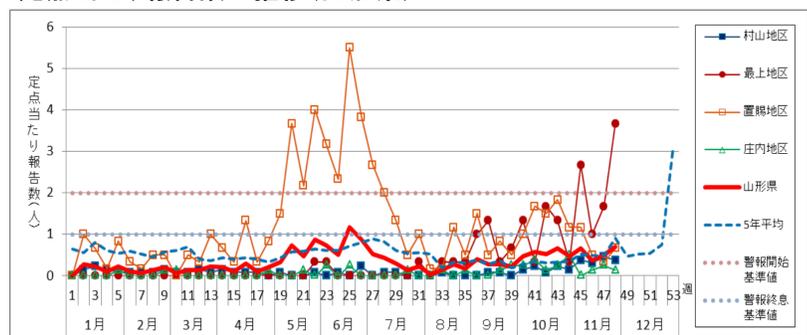
<トピックス>

伝染性紅斑(リンゴ病) 情報

伝染性紅斑の定点当たり報告数が、最上地区で警報レベルとなっています。

- ・警報開始基準値:2人 警報終息基準値:1人
- ・第48週 定点当たり報告数(山形県:0.70人)
村山:0.38人 最上:3.67人 置賜:0.67人 庄内:0.13人

・定点当たり報告数の推移(山形県)



伝染性紅斑とは

伝染性紅斑は、ヒトパルボウイルスB19に感染することによっておこる感染症です。典型例では両頬がリンゴのように赤くなることから、「リンゴ病」とも呼ばれます。

《症状》

10～20日の潜伏期の後、両頬に鮮明な赤い発疹が現れ、続いて手足にもレース様の発疹が現れます。頬に発疹が現れる前に、風邪の様な症状がみられ、この時期に感染力が最も強くなります。発疹が出て、伝染性紅斑と診断された頃には感染力はほぼなくなっています。予後は通常良好ですが、妊婦が感染した場合、胎児水腫または流産を起こすことがあるので注意が必要です。

《予防法》

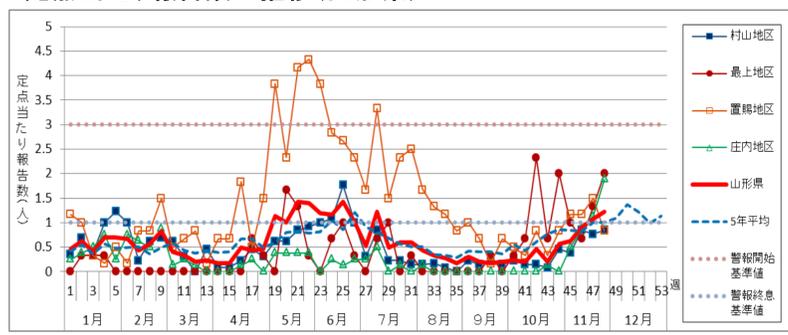
伝染性紅斑は、感染力のある時期には特徴的な症状を示さないため、日頃からの手洗いうがいが重要です。

咽頭結膜熱 情報

咽頭結膜熱の県平均定点当たり報告数が5週連続で増加しています。

- ・警報開始基準値:3人 警報終息基準値:1人
- ・第48週 定点当たり報告数(山形県:1.23人)
村山:0.85人、最上:2.00人、置賜:0.83人、庄内:1.88人

・定点当たり報告数の推移(山形県)



咽頭結膜熱とは

咽頭結膜熱は、アデノウイルスに感染することによっておこる小児の急性ウイルス性感染症です。プールでの感染も多くみられることからプール熱と呼ばれ、通常夏に流行しますが、山形県では例年冬にも流行がみられます。

《症状》

発熱で発症し、頭痛、食欲不振、全身倦怠感とともに 喉の痛み、結膜の充血、眼痛などを訴え、3～5日間程度持続します。

《予防法》

感染者との密接な接触を避け、うがいや手洗いをしっかりとすることが大切です。

